

市民公益活動推進助成金(平成29(2017)年度交付分)の決定内容

<交付決定額 ■初動支援5件:490,000円 ■自主事業4件:826,000円【合計】9件:1316,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
1	初動支援 NPO法人ウィークタイ	元ひきこもり等の生きづらさを抱えた当事者の安定した社会生活に寄与するためのつながり形成事業 ひきこもりの多くが、社会復帰後にも不安定な生活を送っています。私たちはこのような方々が安定した社会生活を送れるように、居場所づくりやプログラムの実施を通じ、緩やかなつながりを作ります。	交付	144,720	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、元ひきこもりを中心とした何らかの生きづらさを抱える当事者らの居場所づくりによって、彼女らの長期安定的な社会参加の実現をめざすものであり、これまで行政の支援の枠から外れていた社会課題を、当事者間の相互扶助など、独自の視点による取組みにより解決しようとする点で、非常に有意義な活動であると考えています。 また、貴団体が自身の団体活動の実施だけに留まらず、「他の団体の情報を利用者同士が交換・紹介し合えるような関係性の構築」を目指されていることも非常に高く評価しています。これまでの実績からも、豊中市内外にかかわらず多種多様な機関・団体とのネットワークの構築に向けて積極的に活動されており、貴団体の活動の幅が徐々に広がっていることを実感しています。 今後も引き続き、団体間の連携や繋がりを進めていただくとともに、当事者に限らず様々な人や団体を巻き込んでいくことを心がけてください。貴団体の活動の目的は、元ひきこもり当事者と社会を「緩やかにつなげていくための居場所づくり」と理解しています。より多くの人々を「緩やかに」つなげていくためには、専門性だけではなく「誰もが気軽に参加できる開かれたイベント」であることも重要です。これらのバランスをうまく取りながら、参加者にとってより居心地のよい場が提供されるように努めてください。貴団体は理想の社会を実現するための大きなミッションをお持ちだと思います。そのミッションをメンバー間で共有しながら、次のステージを見据え、本事業を着実に展開してください。	初動:H28
2	初動支援 エイドミュージズ	音楽とヨガによる地域子育て介護応援プログラム事業 シニア世代や子育て世代に向けて生活を豊かにするお手伝いがしたいと考えています。音楽やヨガなどのアクティビティを実施し、活動・参加・交流を軸にプログラムを提供します。	不交付	269,000	100,000	-	貴団体の申込事業は、音楽とヨガを組み合わせたアクティビティによって、高齢者や孤立しがちな子育て家庭を支援するといった独自の事業であり、現代社会において必要性の高い取組みの一つであると考えます。 現在、豊中市においても数多くの有料ヨガ教室が存在しています。その中で、貴団体が本助成金を受ける場合には、他のヨガ教室との目的の違い(公共性)を明確にする必要があります。貴団体が掲げる「生活を豊かにする」という視点での活動は重要ですが、それだけでは他のヨガ教室との差別化は難しく、地域課題に積極的に取り組もうとする団体として評価することは難しいと判断しました。 本助成金制度は、豊中市が抱える社会的課題の解決に取り組む団体を支援する制度です。貴団体の申込書等やプレゼンテーションの内容からは、なぜ豊中で実施するのかなど、地域での課題やニーズを十分に把握していると判断することができませんでした。また、申込書の事業計画で出された内容とプレゼンテーションでの説明内容に齟齬が見られるなど、十分に計画が練られているか不明であり、そのことから実現可能性が低いと判断しました。 申込事業を実現させるためには、より具体的に地域の課題を把握することが求められます。貴団体が例としてあげられていたように、退院後のリハビリの一環のアクティビティとして本事業を位置づけるのであれば、高齢者のQOL(生活の質)の向上といった観点からも非常に重要であると考えています。今、地域で何が求められているのかをしっかりと把握するとともに、堅実な運営体制を整えながら、豊中で継続的な事業が実施できるよう努めてください。貴団体の持つ専門性や独自性が地域課題の解決に役立つ可能性は十分にあります。団体のミッションを実現するような事業を改めて検討され、ぜひ再度本助成金に申し込みいただくことを期待しています。	
3	初動支援 とよなか山田会	山田映画を語ろう会 豊中出身の名誉市民、映画監督の山田洋次さんの作品などを鑑賞する会。映画文化に触れていただくことはもちろん、感想などを気楽に語り合うことで参加者がつながり合い温かい気持ちになれる場づくりをめざします。	不交付	147,700	100,000	-	貴団体の申込事業は、豊中にゆかりある山田洋次監督の映画作品を鑑賞し、講師も含めた参加者相互で作品について語り合う文化芸術活動であり、作品を通じて人との繋がりを醸成することを目的とされていることがうかがえます。しかしながら、申込書やプレゼンテーションからは、山田洋次監督の作品を通じた今回の交流活動が、具体的にどのよう地域や社会における課題を解決していくのかについて判断することができませんでした。 また、本助成金制度は、地域にある社会的課題に取り組む団体に対する支援を目的とするものであり、より多くの市民の利益に繋がる活動へと成長する事業であることが助成金の可否の判断材料の一つです。今回の申込事業では、山田洋次監督を敬愛する人々のみが集まるイベントになる可能性が高く、残念ながら公益性が低いと判断せざるを得ませんでした。 本事業では、イベント参加者に一部の費用負担を求めています。事業実施にかかる費用のすべてを参加費で賄うことができるよう参加者の裾野を広げていくことが必要であると考えます。もちろん、作品によっては集客が困難な場合もあるかもしれません。ただ、そのためにも、映画鑑賞だけに留まらないプラスアルファの価値をつけることが重要です。豊中市名誉市民である山田洋次監督の作品を鑑賞し、意見交換するだけではなく、「作品を通じて地域のつながりを考える」ことや、「豊中市への愛着心を醸成する」などといった新たな視点に加え、ディスカッションの場をつくることも一案です。ぜひ貴団体のメンバーで様々なアイデアを出し合い、貴団体の事業を地域課題解決のための活動へと広げてみてください。貴団体の今後の独自性溢れる活動を期待しています。	
4	初動支援 視覚障害者の単独白杖歩行外出を応援する会	点字ブロックのルート情報テキストデータベース整備事業 視覚障害者が自由に安全に単独白杖歩行外出できるように、点字ブロックルートの情報を調査収集し、テキスト化した上で、データベースとしてインターネット上に公開する。	交付	140,000	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、視覚障害者の自由な単独外出の実現をめざした環境の整備について、当事者が中心となって取り組む、非常に意義のある活動であると考えます。このような取組みは大阪府内ではまだ行われていないことから、事業の先駆性も高く、本助成制度が支援すべき事業であると判断しました。 市民公益活動推進助成金は、地域や社会的課題に取り組む団体が今後自立的・継続的に発展していくよう、その活動を一時的に財政支援する制度です。現在、貴団体の会員数が3人であることなどを考えると、今回の事業計画が適切な規模なのかどうか、不安も残ります。まずは計画内容を着実に実施していくと同時に、ボランティアなど賛同者を積極的に募るなど、安定的な人材確保に努めてください。また今回の事業を出発点として、今後対象ルートの拡大などを想定されているとのことですが、継続的かつ安定的な活動が展開できるよう、関係する団体や地域諸団体、行政などと密に連携し、地域や人を積極的に巻き込みながら活動を進めてください。また、点字ルート情報は、利用者に活用されてこそ価値が生まれます。単にテキスト情報をネット等で提供するだけではなく、その情報を必要とする人々に広く周知する方法を具体的に検討してください。 申込書に書かれているように、この事業によって視覚障害者の方々の社会活動への参加が促進される可能性も高いです。最初から事業規模を大きくすることは難しいですが、視覚障害者を含め、地域の人々が参加しやすいような工夫をし、ルート情報の作成だけに留まらない、貴団体の掲げるミッションの実現に向けての活動を期待しています。	

市民公益活動推進助成金(平成29(2017)年度交付分)の決定内容

<交付決定額 ■初動支援5件:490,000円 ■自主事業4件:826,000円【合計】9件:1316,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
5	初動支援 とよなか猫のかぎしっぽ	豊中のらねこニャンとかしよ作戦2017 地域住民と対話・協力しながら、野良猫の不妊手術の必要性とその具体的な方法、無責任な餌やりをしないこと等に関する情報発信を行うと共に、捕獲協力により、地域環境を改善し、住民間の対立を解消する。	交付	234,400	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、地域の野良猫がもたらす様々な社会課題の解決のために、第三者の立場から地域に働きかけるだけでなく、地域と協力・連携して課題解決のために活動するという、非常に意義のある事業であると考えます。貴団体は、野良猫の捕獲や不妊手術に対する支援に留まらず、糞尿や鳴き声騒音といった住環境の悪化、餌やりや清掃を起因とする住民間の対立といった問題にも携わっており、まさに地域に根ざした課題の解決に向けた取り組みであると理解しています。 第三者が地域に関わるというアプローチ方法は、複雑化した地域課題の解決に効果的であることを貴団体の活動を通じて改めて感じました。対象となる地区での活動を着実に実施しながら、当事者同士では解決が難しい課題に積極的に関わりながらも、より多くの地域住民が課題を把握し、主体的に取り組むことができるような基盤づくりを進めてください。 なお、予算書に助成対象経費として計上されている交通費のうち、ガソリン代については本事業にのみ係る経費かどうかの確認が取れないため助成対象として不適当であると判断します。また、購入を予定している捕獲器についても、一般的な捕獲器に比べ高額な機種であるため、より廉価で同程度の機能が見込まれる機種を調べ、かつ必要な分量での購入が望ましいと判断します。	
6	初動支援 特定非営利活動法人 シェ・ワゾー鳥のいえ	鳥とその飼い主のための情報発信と支援事業 豊中市在住の鳥の飼い主に向け、安心して飼育を続けるための様々な知識・情報を、パンフレットやセミナー開催の形で発信します。また、相互の交流の場をご提供し、情報交換やネットワーク作りのお手伝いをします。	不交付	132,000	99,000	-	貴団体は、鳥をペットとして飼育続けるための情報提供を含め、飼育者に対する支援を行うことを目的とされています。その中でも、特に高齢者の生活の質向上を目的に活動されている団体であり、人とペットが共生できる地域社会をめざした取り組みは貴重であると考えています。 本申込事業の具体的な内容は、小鳥の飼育者に対するパンフレットの作成およびセミナーの実施ですが、いずれの事業もしっかりとしたコンセプトを検討する必要があります。小鳥の飼育に対する様々な情報は、既にインターネット上でも溢れています。このように考えると、パンフレットもセミナーも、インターネットとは異なる情報が得られるといった付加価値をつけなければ、期待されるような購読者、参加者が得られない可能性が高いと考えられます。貴団体の申込書およびプレゼンテーションからは、誰に対してどのようなパンフレット・セミナーを実施するのかなど、事業の具体的な内容が明確に示されなかったため、残念ながら実現可能性が低いと判断せざるを得ませんでした。また、なぜ本事業を豊中で行うかといった地域のニーズ把握についても不十分であり、事業の地域貢献性も低いと判断しました。 本助成制度は、豊中市の抱える社会的課題に取り組む団体が自立的・継続的に発展することにより、多くの市民の利益に繋がる活動へと成長することを目的とするものです。小鳥のペットとしての飼育数のデータなどは未整備であり、全体像を把握することは難しいとの意見もありましたが、ペットロス問題のほか小鳥の飼育ならではの課題などは、会員間の意見交換でも把握することは可能ですし、そこから豊中独自の課題も発見することができると考えています。 市民公益活動には、明確なミッションとともに、その実現に向けての具体的な実行計画が必要不可欠です。「人とペットが共生できる福祉社会の維持拡大」といったミッションに対し、具体的に誰にどのような活動を展開していくのかをしっかりと検討した上で、豊中のまちがより住みよいまちになるような取り組みを考案してください。貴団体の取り組みが、少しでも多くの高齢者の生きがいづくりに繋がることを期待しています。	
7	初動支援 NPO法人ママの働き方応援隊大阪池田校	赤ちゃん先生プロジェクトとよなか 小学生を対象に、『赤ちゃん先生クラス』を実施します。赤ちゃんとのふれあいを通じて、命の奇跡を感じ、自他への思いやりの心をはぐくみます。同時に、子育て中の母親の社会参加を促します。	不交付	142,840	100,000	-	貴団体の申込事業は、0～3歳の赤ちゃんとのふれ合いの中で、小学校の児童たちに対し自他への思いやりの心を育む機会を提供することを目的としたものであると同時に、子育て中の母親の社会参加を促進するという意義のある事業であると考えています。 しかしながら、現時点では豊中市内の小学校3校のうち1校とは調整中、残りの2校とは未だ交渉していないといった状況では、事業の実現可能性が低いと判断せざるを得ませんでした。また、他市の小学校での実績をお持ちである一方で、豊中の児童がどういった課題を抱えているかといった地域の課題分析が不十分であるといった印象が強く、具体的に貴団体の活動がどのような豊中の社会問題の解決に繋がるのかを読み解くことができませんでした。貴団体が目的で掲げているように、子育て中の母親の社会参加は重要な社会課題の一つであると認識していますが、受講生となる児童のニーズの把握を怠れば、子どもたちに伝えるべきことを効果的に伝えることができません。 また、今回、貴団体はNPO法人ママの働き方応援隊とは別組織である大阪池田校として本助成金に申し込まれましたが、団体の設立目的やトレーナー養成のしくみ、ライセンス使用料など、NPO法人との関係性や団体としての独立性については不明確な点も多く、貴団体の事業が財政的な不安を抱える初動期の市民公益活動を支援する本助成金制度の支援対象であるか否かを判断することが困難でした。 今後、改めて豊中の子どもたちに資する事業内容を検討していただき、小学校との連絡を密にしながら、着実かつ計画的な事業実施を進めてください。	
8	初動支援 あしたの暮らしとよなか	種まきシアター 主に環境関係のドキュメンタリー映像の上映会を市内のいくつかの場所で定期開催する年間企画です。毎回、上映会後はお茶やお菓子をつまみながら、参加者同士が感想や考えを共有し交流する時間を大切にしています。	交付	340,000	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、ドキュメンタリー映像の鑑賞を通して参加者が社会課題を共有し、それを自分の事として捉えることを意図したものであり、新たな人と人との繋がりをつくる、非常に有意義な活動であると考えます。この活動を通じて、ミッションを同じくする人々が集まり、新たな市民公益活動が生まれることが本事業を高く評価した一つの理由です。この点からも、上映会に際しては、上映後の「トーキングサークル」を通じた参加者同士の意見共有を重視するよう努めてください。また、広報についても単に上映タイトルを告知するだけでなく、上映後の意見共有の意義をしっかりと参加者に伝えるよう工夫してください。 貴団体の活動の公益性を高めるためには、これまでのリピーターをしっかりと繋ぎとめることも重要ですが、社会課題に関心の薄い新たな人々を巻き込むことも求められます。そのためにも、新たな層の獲得に向けた広報や情報発信の方法を検討するとともに、地域や関係団体との連携を進め、様々な場での事業実施を検討してください。 なお、予算書に助成対象経費として計上されている交流会用の茶菓子代とその他経費については助成の対象に当たらないと判断します。	

市民公益活動推進助成金(平成29(2017)年度交付分)の決定内容

<交付決定額 ■初動支援5件:490,000円 ■自主事業4件:826,000円【合計】9件:1316,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
9	初動支援 千里中央子ども食堂をはじめようの会	食を通じての多世代交流、地域交流、場の提供 千里地域の、食を通じての多世代交流、地域交流、居場所作りの機会を作る。	交付	162,000	90,000	90,000	貴団体の申込事業は、転勤により移住してきた市民や孤立した子育て家庭、また核家族化が進んだ中での高齢者層といった、様々な課題が混在する千里の地域において食を通じた交流の場をつくることで、普段関わりを持ちづらい人々同士の繋がりを創造する事業であり、地域課題に応じた非常に有効な取組みであると考えます。本事業は、昨年8月に始めたばかりの事業であり、人材確保も含めて運営体制がまだ脆弱な状態にあることがうかがえます。千里地域では、「転勤族カフェ」など既に様々なネットワークづくりのためのイベントや団体も存在します。そのような地域の諸団体と連携することによって、より多くの賛同者や参加者を巻き込むよう努めてください。また、イベント告知では「千里中央子ども食堂」と冠していますが、「子ども食堂」とは一般的には貧困を含めた何らかの生きづらさを感じている子どもたちに食事を提供する場所と認識されています。この点から考えると、場合によっては参加者に対し誤解を与える可能性もあります。他の地域から来た人と地元の人を繋げる多世代交流・地域交流といった事業の本来の目的をしっかりと伝え、事業を実施するようにしてください。また、事業実施の際には、ボランティア保険の加入や保健所の指導なども含め、適切にリスク管理を行ってください。	
10	初動支援 「とよなか うた広場」	「とよなか うた広場」 とよなかうた広場は、誰でも無料で参加でき歌い継ぎたい童謡唱歌や昭和の歌謡曲などを、大きな声で伸び伸びと歌い、健康作り、笑顔作り、仲間作りを目指します。近所のお友達、ご家族でお気軽にご参加ください。	不交付	150,000	100,000		貴団体は、豊中市内の公民館を中心に活動する、歌うことを通じて多世代交流や健康増進を推進する事業を積極的に展開されています。昨年も、豊中市文化芸術祭に出演されるなど、シニア層を中心に毎回100人近い参加者を集めた取組みを実施されていることから、地域において際立つ存在であることがうかがえます。本助成金制度は、地域の様々な課題に取り組む団体の新たな活動が、安定的に実施されるため一時的に支援する制度です。この点からも、これまで解決されてこなかった地域の課題は何か、その解決のために当事業がどのような役割を果たすのか、といったことを明確に示す必要があります。しかしながら、今回申込みのあった事業は、昨年度と同様、継続して貴団体が実施する事業であるといった印象が強く、残念ながら「地域貢献性」という点で評価が低いと判断せざるを得ませんでした。例えば、貴団体は事業を通じて地域の多世代交流を目指しておられます。現段階では参加者のほとんどがシニア層のようですが、より幅広い年齢層、異文化の人々を巻き込むような新たなしなかけを検討していただければ、公益性、地域貢献性といった点での評価が高くなります。豊中でどのような地域課題が顕在化しているのか、そしてそれをどのように解決していくのかについて、貴団体の高い専門性や多様なネットワークを活かし、ぜひ検討してみてください。なお、現在貴団体の事業はすべて参加費無料で実施されていますが、この取組みを一過性ではなく継続的に実施することを考えれば、事業ごとに参加者を募る形式ではなく、会員制を導入することで会費収入を得るなど、貴団体の安定的な活動を維持するような方法についても検討してみてください。	
11	初動支援 特定非営利活動法人アガペ・シオン	NPO法人アガペ・シオン フリースクール 入学された青少年達をグループ別に分け、スタッフと共に自主活動や学習の計画を立て実行します。又、スタッフ側より学習や音楽、美術、体育等の表現活動及び心の成長に役立つ魅力ある授業や講座を提供致します。	不交付	160,000	100,000		貴団体の申込事業は、不登校児童・生徒に自由な活動や学びの場を提供する事業であり、豊中にも多数存在する何らかの生きづらさを抱えた青少年を支える取組みとして、非常に意義ある事業です。また、同様の施設がこれまで豊中には存在しなかったことから、先駆性は高く、その必要性は非常に高いと考えています。しかしながら、公開プレゼンテーションでの説明時点において、まだフリースクール生の募集を実施しておらず、計画書にある4月からの開校はほぼ不可能、場合によっては9月頃にまでずれ込む可能性もあるとのことでした。このため、施設等は万全な状態であるものの、スタッフ等も含めた人的体制が整っていないことから、残念ながら本事業の実現可能性は低いと評価せざるを得ませんでした。フリースクール事業を実施する場合はその性質上、事業に関する詳細な情報を必要とする人々に適切な形で届ける必要があります。また、入学する子どもたちだけでなく、保護者一人ひとりに寄り添うといった、お互いの信頼関係の構築も必要不可欠です。この点でも具体的に生徒募集の方法を検討していく過程において、行政や地域諸団体との連携は欠かせません。まずは、地域におけるネットワークや活動基盤をしっかりと構築したうえで、再度貴団体が本助成金を申し込まれることを期待しています。	
12	自主事業 NPO法人ZUTTO	ぐーてん子ども食堂と子ども支援実務者研修 一人や子どもだけで夜を過ごす子どもを対象に子ども食堂と料理教室を開催し、地域と関係機関が協力して子どもを見守る関係を築く。子どもと接する実務者を対象に研修を開催し、能力向上を図る。	交付	407,600	203,000	203,000	貴団体の申込事業は、昨年度に引き続き子どもの貧困や孤食等といった喫緊の社会課題に取り組むものであり、これまでの活動実績やネットワークを活かし、今後も継続的かつ安定的に実施されるべき事業であると考えます。子ども食堂事業の実施に当たっては、これまでも地域の関係諸団体との連携の下で進められていますが、ボランティアスタッフや地域サポーターの安定的な確保など、より地域の様々なステイクホルダー(関係者)を巻き込むようしなかけを検討してください。また、現在、参加予定者を中学生以下13人と見積もっておられますが、地域には対象となる子どもたちが数多く存在していると考えられます。ぜひ、より多くの子どもたちに参加の機会を提供できるよう、公民館や他の施設での実施も視野に入れ、事業を検討してください。子ども食堂の意義は、行政や専門家の支援の枠を超えた部分を地域みんなで支えるといった相互扶助の形で実施されることです。貴団体が提案されている実務者研修の意義は一定認めますが、それによって一般の人が参加しづらい状況を作ってしまうのであれば、子ども食堂そのものの良さが失われてしまいます。この事業に携わる参加者が「専門家集団」にならないよう、そしてこの子ども食堂が地域の子どものたちにとって居心地の良い場所になるよう、今後も地域に根付いた活動を展開されることを期待しています。	自主:H28

市民公益活動推進助成金(平成29(2017)年度交付分)の決定内容

<交付決定額 ■初動支援5件:490,000円 ■自主事業4件:826,000円【合計】9件:1316,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
13	自主事業 さんえんじえる	「子どもの安心できる居場所」による子育て子育て応援事業 ありのままの自分を受け入れてもらえる場があるということ、子どもの孤立化を防ぎます。また、親同士の語る場を作ることにより、育児の不安を解消し、親の孤立化も防ぎます。	不交付	245,000	120,000	-	貴団体の申込事業は、子どもと親の安心できる居場所づくりを身近な地域で進めることで、子育て中の家庭の孤立化を防ぎ地域での居場所をつくるという点で非常に必要性の高い活動であると思われます。今回、これまで実施していた旭丘地区に加えて新たに西泉丘地区にも事業を広げていくのかどうか疑問を感じます。また、これまでの5年間の活動から市内もしくは同じ地域で活動する他団体との連携が不明であり、団体の自立発展性という点にも不安が残ります。また、これまでの乳幼児とは異なり小中学生を対象に新たに事業を実施することですが、どの程度の参加人数を見込んでいるのか、さらにネットやチラシ等によって寄付金収入を得るとのことですが、具体的にどういった方法で募るのかなど、具体的な実施計画や方法が示されていないため、実現可能性が低いと判断せざるを得ませんでした。 貴団体の基盤を強化し、継続的で安定的な活動を推進する意味では、例えば公民分館や社会福祉協議会など同様の活動を実施している地域団体との連携が必要不可欠です。今後は、地域での関係団体とのネットワークづくりなど、より積極的に地域に関わる取組みを進めていかれてはどうか。そうすれば、貴団体の専門性が活かせる場が見つかり、活動に対する賛同者も増えると思います。 本助成金は、地域の課題解決を行う団体の活動を支援し、市民公益活動を広めていくことを目的としています。活動を始めたばかりの市民公益活動の立ち上がりを助成する初動支援コースとは異なり、自主事業コースは、これまで実施してきた活動をさらに広げること、より多くの市民の利益に繋がるよう活動の幅を広げていくことを支援する制度となっています。貴団体は、これまでも一定の会費収入を原資に活動を続けておられます。今後も、引き続き地域に根ざした活動を展開することで、より多くの市民を巻き込んだ活動につながれることを期待しています。	
14	自主事業 一般社団法人豊中 青年会議所	おやこdeてらこや～笑顔で学ぼう～3days共育体験プログラム 親として、家庭教育への基本的な姿勢と考え方を再認識し、子どもに対する家庭教育の効果的手法を学びます。同時に子どもは、体験プログラムを通じて、自立心と他者への思いやりを育む事を目的とします。	不交付	458,817	150,000	-	貴団体は、その設立目的に掲げられているように、豊かな社会の実現をめざした様々な社会的活動に取り組む団体であり、その活動趣旨は本助成金の目的とも重なることから、他の団体に先駆けた活動を通じて、豊中の市民公益活動を支援、リードしていくことが大きく期待される団体であると認識しています。 今回、貴団体が申し込まれた事業内容は、詳細な講座のプログラムも検討されており、実現可能性も高く、参加者にとっても非常に意義あるものだと考えます。しかしながら、事業の対象者が少数でありかつ限定的であることから、公益性が高いとは言えませんでした。また、広告費や記念品製作費など予算上の必要性が低いと判断せざるを得ない支出が多い一方で、食材費等必要であると考えられる経費が事業予算書に盛り込まれていないことなど、予算の妥当性が低いことに加え、貴団体が市民公益活動推進助成金を強く必要とする理由を読み取ることができませんでした。 貴団体は、本事業を通じて、家庭教育の課題を親と子の両面から支援・指導することにより、ひいては地域社会が持つ核家族化等の子育て環境の課題改善に積極的に取り組もうとされています。そのような積極性を一定評価する一方で、貴団体は地域の市民公益活動を推進・牽引するという非常に大きな役割も担っていると考えます。今後も引き続き市民公益活動を支援する団体として、活動を続けていただけることを期待しています。	
15	自主事業 特定非営利活動法人ハニー・ビー	困り感のあるこどもを育てていくためのガイドブックの作成と活用 障がい児を育てた経験を有する親が中心となって「子育てサポートガイドブック」の作成を行います。また、ガイドブックの活用や促進のためのアドバイスや多様なメディアの活用や情報更新の在り方も検討を進めます。	不交付	1,061,690	500,000	-	貴団体は、障がい児に対する療育支援によって、彼女ららの自立や就労参加の実現を目的に活動されています。そのうえで、本申込事業は、障がい児を含め、困り感のあるこどもを育てていくために必要な情報を集めたガイドブックの作成を、障がい児などを育てた経験をもつ親や家族が中心となって作成するとともに、そのガイドブックの活用手法等を検討するといったものであり、貴団体の専門性やネットワークを活かした、非常に意義のある取組みであると理解しています。 ガイドブックの作成にあたっては、それが十分な効果を発揮するためにも、どのような、そして誰を対象としたガイドブックを作ろうとしているのかなど、コンセプトを明確に設定することが必要不可欠です。しかし、プレゼンテーションでの説明では、残念ながらガイドブックのコンセプトを団体の会員同士が十分に検討、共有しているのかという疑問が残りました。また、もしこのガイドブックの主な対象者が「自身の子どもが障がいを持っているのかどうか悩んでいる親」であるならば、放課後デイサービス等施設を中心とした配布では、ガイドブックが本当に届けられるべき人の手に渡るかどうかという点についても疑問が残ります。 さらに、年度末にガイドブックを完成させ、1ヶ月程度で400冊を販売するという計画についても実現可能性に不安があります。近年ではインターネット上で様々な情報が溢れています。それを整理するためのツールとしてガイドブックを作成するとの意見もありましたが、本ガイドブックだからならではの付加価値をつけなければ、販売そのものが難しい可能性もあります。 まずは読者ターゲットを明確にした上で、読者がどのような情報を望んでいるのかをしっかりと把握してください。紙媒体の持つ利点もありますが、即時性に欠ける部分もあります。ホームページといったウェブメディアの活用と比較し、必要な情報を必要な人々に届けるための最適な手法についても再度検討してください。	自主:H21
16	自主事業 NPO法人日本タッチ カウンセリング協会	子どもの発達凸凹との付き合い方は？保護者の語り場「チョコすてっぷママ」 子どもの発達凸凹への理解を深めたり、日頃の子育ての悩みを共有できる「語り場」を開催し、保護者同士のネットワークづくりや社会資源を活用するサポートを行います。	交付	234,900	117,000	113,000	貴団体の申込事業は、発達障害を含めた子育ての悩みなど、保護者同士が気軽に話せる機会の提供を行う事業であり、孤立しがちな子育て中の親を支えることのできる、非常に有意義な取組みであると考えています。 昨年度に実施したプレセミナーにおいて、豊中市における子育て世帯のニーズを既に把握され、他市との比較の中で豊中市独自の特徴についても十分に理解されていることから、今後のセミナーを通じて、豊中市の地域課題に即した有効な取組みを展開されることを期待しています。 なお、豊中市には既に子育て世帯を対象とする活動を行っている団体が数多くあります。本事業の実施においては、そのような団体等との連携を積極的に進めいただき、子育てに悩みを抱える当事者により広く周知できるよう工夫してください。また、個別事例に対しても、専門家と連携しながら適切なケアを提供してください。 なお、予算書に助成対象経費として計上されている緑地公園教室の賃借料は、団体として既に確保している施設であれば助成の対象に当たりません。また、託児イベント工作材料費は、その同額を参加者に負担させるものであるため、助成対象としては不相当です。	

市民公益活動推進助成金(平成29(2017)年度交付分)の決定内容

<交付決定額 ■初動支援5件:490,000円 ■自主事業4件:826,000円【合計】9件:1316,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
17	自主事業	MOA美術館 豊中児童作品展	不交付	263,247	131,000	-	<p>貴団体は、児童の作品を展示する場を設けることで、家族間のコミュニケーションの場を創造し、社会問題の解決の一助を担うべく、今回の事業を申し込まれています。本事業は豊中市内の小学校児童やその家族を広く巻き込むものであることから、多くの市民の賛同が得られるのではないかと予想されます。</p> <p>ただ、貴団体が申し込まれた本助成金(自主事業コース)は、より多くの市民の利益に繋がるような活動を展開していくことを目的に、団体のこれまでの活動をさらに充実させるための支援制度です。</p> <p>貴団体の申込事業は既に長年にわたり実施されてきた実績をもつことから、本助成金を受けるにはこれまでの活動とは異なる、新たな展開が必要です。しかしながら申込書からは、今回の取組みは実施場所が拡張される以外は、これまでの取組みとほぼ同様の内容であり、さらなる地域への貢献性は残念ながら認められませんでした。「申込事業の目的」の中で、これまでの実績を踏まえさまざまな課題を抽出しておられることは、非常に重要なのですが、家族同士のコミュニケーションの場をどのように創造するのかなど、その課題を解決するための具体的な方法が示されていない点では、助成金対象としては評価できないという結論に至りました。</p> <p>また、本事業は、昨年度まで他団体及び実行委員会の主催事業であったこと、今回事業の会場申込名義が実行委員会となっていることなどから、貴団体との関係性が不明である点も、貴団体の公開性や自立発展性を判断することが困難であり、助成金の対象とすることが不相当と判断せざるを得ませんでした。</p> <p>貴団体の取組みは、小学生の絵画・書写の作品展示を行うことで児童の情操教育を実施するとともに、コミュニケーションを通じた子どもを取り巻く家庭・社会の健康を育むことを目的とする非常に意義深い活動であると思われます。今後も引き続き、豊中市全体を豊かにする取組みを継続的に実施いただくことを期待しています。</p>	
		豊中市内の小学生が制作した絵画や書写を展示することで、子供の情操教育を図ると共に希薄化しがちな家族間コミュニケーションをとる時間を増やし、現在の子供を取り巻く社会課題の解決に繋がります。						
18	自主事業	豊中愛唱会	不交付	360,000	180,000	-	<p>本助成金は、地域の課題解決を担う団体の活動を支援し、市民公益活動を広めていくことを目的としています。貴団体が申し込まれた自主事業コースは、団体がこれまでの実績に基づきさらに活動の幅を広げていくことを支援する制度です。</p> <p>貴団体の申込事業は、歌うことを通じて年齢や性別を超えた市民の生きがいづくりを進めるものであり、より多くの市民が充実した市民生活を送るための環境づくりという点でも意義ある活動であると思います。しかしながら、事業予算書からは、15名の現会員が対象者であることが記されていることから、貴団体が、本助成対象となるような更なる事業の拡大・充実を計画されていると判断することができませんでした。本助成金は、団体運営そのものを助成対象とするのではなく、団体が展開する新規事業を一時的に助成することによって、団体の自立発展を促す制度です。このため、現会員を対象とした継続的な練習活動のみでは、公益性の観点からも本助成の対象には馴染みません。貴団体の事業は、生涯学習や介護予防といった観点からも今後ますます注目されるべき取り組みです。今後は、新たな参加者を募るような積極的な広報を行うなど、より多くの市民を巻き込むしかけを検討し、貴団体の活動の幅を広げていかれることを期待しています。</p>	
		<p>豊中愛唱会</p> <p>年齢性別を越え、生涯学習としてバリアフリーな活動の輪を広げ、歌を通し、腹式呼吸で楽しく鍛える。歌うことは「心身の活性化に最高の薬」と言われている。生涯学習として歌う仲間と共に輝く時をご一緒しましょう。</p>						
19	自主事業	みんなで作る防災事業	不交付	245,000	122,000	-	<p>貴団体が申請された助成金(自主事業コース)は、団体がこれまでの実績に基づきさらに活動の幅を広げていくことを支援する制度です。</p> <p>貴団体の申込事業は、地域独自で防災対策に取り組もうとする自主自立的な活動であり、災害に対する備えを地縁的なつながりの中で進めようとする点で非常に有意義な活動であると理解しています。しかしながら、提出いただいた申込書等からは防災マニュアルや安否確認用品の必要性は伝わってくるものの、どのようなものをどのようにに活用して地域の防災力を高めていくかといった具体的な内容までは記載されていませんでした。このため、事業の実現可能性や地域貢献性といった項目について評価することができず、残念ながら本助成の対象とすることは困難であると判断しました。</p> <p>貴団体は、地縁団体として、住民同士のつながり等さまざまな課題を十分に把握されていると思います。今回の申込事業についても、その課題を踏まえたものであったと推察されます。地域の防災力の強化は、地域住民にとっても関心の高い課題の一つであるので、ぜひできるだけ多くの市民が地域の防災事業に主体的に関わることのできるような取り組みを検討していただくとともに、他の自治会や各関係機関とも連携しながらさらに取組みの幅を広げていかれることを期待しています。</p>	
		<p>豊中市新千里東町3-3自治会</p> <p>防災マニュアルや安全確認のできる物を作成し、地域の皆様に防災に関しての意識の向上と、この活動を通じて、地域の活性化を目指す。</p>						
20	自主事業	落語で学ぼう後見人!	交付	220,760	110,000	110,000	<p>貴団体の申込事業は、高齢社会の進展の中で重要性が増すことが予想されているにもかかわらず、未だ十分な普及が進んでいない成年後見制度について、より幅広く一般市民の理解と知識を深めることを目的とした事業です。その目的を達成するために、落語という高齢者に親しみ深いツールを用いての本事業は、堅苦しい法律に対するイメージを払拭させるという意味でも非常に興味深い取組みであると考えています。</p> <p>ただ、貴団体の設立目的を達成するには、継続的かつ定期的な取り組みが重要です。事業の実施については、一過性のイベントだけではなく、継続的な実施を検討されるとともに、イベント後に相談会を設けるなど、イベント来場者に対して制度への理解をより深めるような取り組みを検討してください。貴団体が指摘されているように、自分とは無関係だと考えている人々をどのように巻き込むかが非常に重要であると考えています。地域団体や他の関係諸団体との連携を図りながら、効果的に広報を行うことで目標人数以上の集客を実現し、より多くの人々に対し、成年後見制度の普及に努めていただけることを期待しています。</p>	
		<p>特定非営利活動法人 ライフアンドガーディアンズ</p> <p>後見ってことば、よく耳にするけれど、本当のところは分かりにくい。後見人ってなに?必要なこと?自分の気持ち分かってくれる?後見制度の「よくわからない」を「なるほど」に。落語から楽しく学ぼう。</p>						

市民公益活動推進助成金(平成29(2017)年度交付分)の決定内容

<交付決定額 ■初動支援5件:490,000円 ■自主事業4件:826,000円【合計】9件:1316,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
21	自主事業 NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ	ONCC高齢者サロン「げんき塾」	不交付	440,000	220,000	-	貴団体は、高齢者の生涯学習を推進するとともに更なる社会貢献へと活動をつなげるなど、講座受講者の活動の幅を広げていくための取組みを積極的に進めておられます。今回の申込事業は、平成27年度の助成事業である「大阪府シルバーアドバイザー養成講座」の卒業生が、高齢者サロン「げんき塾」を立ち上げ、地域諸団体との連携のもと地域課題に対して自主的に取り組むものであると理解しています。このように考えると、貴団体は、「げんき塾」の支援団体の一つとして位置づけられるものであり、本助成金を受け取る団体としては不適であると考えています。すなわち、「げんき塾」が新規事業の実施において本助成金を必要とするのであれば、「げんき塾」そのものが地域で活動する市民公益活動団体の一つとして助成金申込を行うべきです。貴団体は、卒業生の立ち上げた団体のために助成金申込を行う団体としてではなく、卒業生が主体的に活動する団体の一つでも多く地域に輩出していくというより大きな役割を担っていると理解しています。昨年度の助成金を受け、その後、精力的かつ自立発展的に展開されている状況は、助成の趣旨にかなうものであり、高く評価しています。引き続き地域に市民公益活動を普及させ、一人でも多くの地域の担い手を推進する活動団体として、継続的かつ先進的な取組みを続けていただくことを期待しています。	自主:H27
		毎月第一金曜日刀根山蛭池会館で高齢者対象のサロン「げんき塾」を開催し、地域の方々とおしゃべり、歌体操、おもちゃ作り等で交流を深め楽しんでいただいています。とねっこランドでも子どもたちと交流しています。						
22	自主事業 団楽長屋プロジェクト	地域の子育て力を上げる「多世代交流」プロジェクト	交付	800,000	400,000	400,000	貴団体は、子どもたちを中心に、世代や立場を超えた、さまざまな人々を巻き込んだ緩やかなコミュニティづくりを実践するなど、非常に有意義な活動を続けておられます。これまで取り組まれた実績からも、少しずつ新たな取り組みを取り入れながら、着実に人と人の繋がりや輪を広げてこられたことが実感されます。今回の申込事業も、これまで続けてこられた「だんらんしんぶん」の発行を軸とした、地域における多世代の繋がりや広がりを生む場を創造する事業であり、引き続き多くの人を巻き込みながら実施されることを期待します。なお、今回の事業では「地域の子育て力を上げる」といったテーマを掲げておられます。孤立しがちな子育て世帯やシニア世帯をどのように巻き込んでいくのか、その繋がりを継続的に維持するにはどうすればいいのかを含め、テーマに即した事業を展開してください。なお、ボランティアスタッフについては安定的な確保ができていますが、事業の担い手となる人材の確保はまだ不十分であると感じています。同じ価値観を共有できる次世代の担い手を見出し、育てることは難しいかもしれませんが、このような事業は継続的に実施することに意義があります。保育等、他事業の導入も検討されておられるとのことですが、その意味でも、運営体制の強化は必要不可欠です。今回の事業の実施を通じて、新たな担い手の育成に努めてください。	初動: H26,H27 自主:H28
		『だんらんしんぶん』の発行をはじめとする様々なイベント・講座など、総合的でより実践的な多世代交流活動を通して、当団体だけで完結しない「地域の子育て力を上げる」というテーマに取り組む。						